

<「知るっば！久留米」 令和3年11月11日(木) 12:30~放送分>

田主丸地域の魅力 ～第2回～ 「田主丸の新たな観光メニュー」

<ゲスト：久留米市地域おこし協力隊 黒田 俊光さん>

坂本 MC (以下「坂本」)

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です。

今月は、久留米市の東部に位置する『田主丸地域の魅力』をテーマにお送りしています。

ゲストはこの方です。

ゲスト:黒田さん(以下「黒田」)

こんにちは!久留米市地域おこし協力隊の黒田俊光です。

田主丸総合支所の地域振興課にいます。

移住定住につながる田主丸の魅力発掘と情報発信をしています。よろしくお願いします。

坂本 第2回は、『田主丸の新たな観光メニュー』というテーマでお送りします。先週の続きですね。前回は、河童にまつわる新たな観光メニューが始まるということで、時間が来てしまいました。改めまして、どんな観光が始まって、河童にまつわるどんな面白いことがあるのか教えていただけますか？

黒田 はい、まずは田主丸の河童についてお話ししますね。

実は、田主丸駅の河童を見ただけで満足して、そのまま帰ってしまう人が結構いらっしゃるんです。ですが、田主丸の町にはもっといろんな河童がたくさんいるんですよ。

例えば、橋の欄干に石で作られた河童がいれば、近くの鉄工所が作った鉄の河童がいたり、鉄の河童を着せ替え人形のように着せ替えて、お店の前に飾っているところもあります。

他にも「河童のへそ」というお菓子もあるんですよ。

その「河童のへそ」のお菓子で有名な「曙屋」さんなんですが、

先代の亭主は、水墨画で河童の絵をたくさん描いていたんですよ。

それで、今でも町のいろんなところにその河童の絵が飾られているんですね。

また、今の亭主も美的センスがおありで、指輪にもなるような小さい折り紙の河童を作られています。なので、そういう所も紹介していければいいなと思っています。

坂本 河童のへそ、おいしいですよ。

河童の顔の形になっている駅舎もインパクトがありますし、テレビでもよく紹介されていますね。

黒田 世界的にも有名になっていますよね。

坂本 私としては、相撲をしている姿や寝そべっている姿の石造りの河童が好きですね。

黒田 インスタ映えもするし、とっても良いですね。

そこで今年、その河童達を見て回る「かっぱガイドツアー」を始めることになりました。

久留米市に「いつでもまち旅」という企画があって、そのメニューのひとつに登録されています。

10月から来年3月までに予定されていた4回のツアーは、

おかげさまで、予約開始数日ですべて定員に達することになりました。

そのツアーでは、「かっぱめぐりマップ」という田主丸駅に置いてある、河童族が作った地図に沿って町を散策しつつ、地元の人に実際にお話を聞きながら歴史を楽しむ企画です。

実は、今日、おもしろい帽子を被って来ていますが、私もガイド役の一人なんですよ。

そしてこの帽子は、河童族のメンバー専用のキャップになっているんです。

当日は、これを被ってご案内します。

坂本 良いじゃないですか!なかなか、素敵なデザインと思いますよ。

黒田 ありがとうございます(笑)

今日はせっかくラジオに出演させていただいたので、

ここでしか聞けない「かっぱガイドツアー」のエピソードを紹介しますね。

かっぱガイドツアーの目玉のひとつに、映画「男はつらいよ」の撮影秘話が聴けます。

1981年の暮れに公開された第28作「寅次郎紙風船」というのがあって、

この映画に2分弱ですけども、田主丸が登場していたんです。

ツアーではその撮影現場になった法林寺や月読神社などの撮影話を聞いて、

寅さんの写真もお見せするという企画となっています。

坂本 私もね、寅さん大好きでね。

「寅次郎紙風船」の回は、朝倉の「三連水車」や久留米の「水天宮」も舞台に出てきますよね。

黒田 そうですね。田主丸のすぐあとが水天宮ですもんね。

坂本 いわば、筑後川沿いにずっとこの地域を紹介する観光映画といった感じの作品になっていますよね。でも、そういえば、河童の像とかは出てこなかったですね。

黒田 そうそう。私も最初、なんで映画に出てきている場面のすぐ近くに河童がいるのに、なんで出さなかったのかと不思議に思ったんですよ。

それから調べていくうちに、実は川の河童を設置したのは河童族の人でも、

第2世代と言われる人たちが作ったということが分かったんですね。

その第2世代の人たちが活動を始めたのは1982年4月なんです。ということは、、、

坂本 撮影時にはなかったということですよ。

黒田 映画の撮影は、第2世代が発足する半年前の1981年の秋に行われたんですね。
ということなので、当時はロケ地近くに河童はいなかったということになります。
その場所からちょっと離れたところには、昔からある古い河童の像があったんですけど、
それはちょっと遠かったので使われなかったのかなと思います。
だけど1、2年後に寅さんの映画が撮影されていたら、きっと河童が出演して、
河童駅のずっと前から河童の田主丸としてデビューしていたんじゃないかと思うと、少し残念です。

坂本 そうだったんですね。ちょっと残念。
寅さんが橋の欄干にもたれながら、河童の石像に話しかけるなんていうシーンがね、
あるとよかったなという気がしますね。
他には何か新しいメニューはあるんでしょうか？

黒田 もうひとつ田主丸の新しいメニューで、「巨勢川でカヌーを楽しもう」という企画を考えています。
巨勢川には10キロ近く、川の中の段差、いわゆる堰(せき)が無い区間があります。
これは全国的にも珍しいことで、ここで家族や初心者の方にゆっくりカヌーを楽しんでもらおう
という企画に向けて今動いています。
おそらく来年度から始まるかなというところですので、ぜひ乗りに来てください。

坂本 歴史や文化の魅力を自然も含めて感じていただけるような話になるのかなと思います。
ということで今日もまたまた、時間が足りなくなってきました。
地域おこし協力隊の黒田さん、興味深いお話をありがとうございました。
次回は『田主丸の古墳と伝統行事』をテーマにお聞きします。
お楽しみに。